

# アメニティの機関紙

## 【巻頭言】

### 日々是学習

前田亜紀子(群馬大学教育学部)

アメニティは通常「快適性」と訳されるようですが、実際にはその意味は多様であることを講義で語ります。そこで先ず comfort、comfortable と pleasant、pleasantness、pleasure という二つの「快適」の違いについて述べ、ここから被服衛生学領域へと展開して行くのが常です。しかし、本資格試験が近づき、特訓を行う時に至って、講義では十分に論じていなかったことを痛感します。

前任校の長野県短期大学は日本最古の公立短大です。よって長野ではお墨付きであり、地域社会における学生たちの人気は絶大です。それでも長引く日本経済の低迷のため、学生たちは入学と同時に、就職活動に余念がありません。

学生の就職にとって、この資格が少しでも有利になればと願い、2007年に指定校として認定を受けて以来、本年に至るまで、計39名の2級資格取得者を輩出しました。

現在、私は群馬へ異動し、教員をめざす学生に、いかにアメニティを浸透させるか思案中です。

先日、新幹線の車内で、長野県短にて資格を得た卒業生に邂逅し、しばらく語りました。現在彼女は仕事を続けながら、一種教員免許取得をめざして通信課程で学び、土日は新幹線を利用して講義にも通っているということでした。彼女の今後の御活躍を願いつつ、私も日々学び続けて行かねばと思ったのでした。

## 【指定校責任者挨拶】

### アメニティ資格教育の有効性

藤居由香(島根県立大学短期大学部)

今年度から、本学では住居・デザイン研究室の学生達がアメニティスペシャリスト資格に挑戦さ

せていただくことになりました。カリキュラムとしては、住生活やインテリアに関する実験・実習や製図を担当しています。

私自身が学生の頃、地域居住の快適性の向上に興味を持っていたことを思い出し、アメニティの追求への関心は、今時の学生との共通項となる普遍的なテーマなのだと気付きました。

今回、事前講習会に取り組み、人体から住環境を見つめることの大切さを改めて認識しました。別の授業で測定した温熱環境や照度、騒音等のデータと感覚器官との関連性を考える良い機会となりました。

学生達も、課外の時間の講習会にもかかわらず、何度も集まり、熱心に勉強に取り組んでいたのが感心しました。資格取得という身近な目標が、彼女達の向学心に結びついた様子を目の当たりにし、今年度初めて導入した意義がありました。

短大で専門的な学習をしたことを、学外から評価された証拠の一つとして、資格・検定の意義は大きいと常々思っています。中でも、アメニティスペシャリスト資格は、専門科目の履修単位と、試験の点数の両方を揃えて初めて取得できるため、人材採用の企業側の信頼度も高まると期待しています。

## 【生理人類士の声・1級】

### 生理人類学から学ぶものづくり

山田瑞生(西川産業株式会社)

私は、企業内で寝具・寝装品の研究と開発に携わっております。生理人類士の資格は以前にアメニティコーディネーター(生理人類士準1級)を取得しており、生理人類学の知識を踏まえた上で更に応用的なスキルを身につけるためにアメニティプランナー(生理人類士1級)を受けました。

快適に眠るための寝具や寝室環境(光、音、温

熱など)は生理人類学との関わりが深く、ここで学んだことが今まで担当した商品の開発に大変役立ちました。中でも、夏の熱帯夜に生じる寝苦しさに着目し、暑熱対応を目的とした商品を開発した際には、人間の体温調節や発汗機能の仕組みを熟知した上で、ヒトとモノの双方の調和を考慮した設計や改善を繰り返し、その結果メディアや学会など多くの方々から注目され好評をいただきました。

生理人類学は様々な分野で導入され活かされています。これからも生理人類学視点に立ったものづくりと研究に努力したいと思っております。

### 【生理人類士の声・準1級】

#### 産業の先駆者としての役割

安高佳依 (武蔵野大学通信教育部)

「多くの場合、人は形にして見せてもらうまで自分は何が欲しいのかわからないものだ。」世界を変えたと評される故スティーブ・ジョブズ氏の言葉です。生理人類学は日々進化する環境に適したものづくり、デザインを創造する出発点だと思います。認定試験に際し、人類の過去から現在までの身体機能・生活様式の経過を知る機会を得ました。これらの知識を活かし、日々変化していく社会を見据え、既成に捉われず、しかしアメニティの芯は外さず、微力ながら前進したいと考えています。

#### 社会に役立つ仕事をめざして

猪子麻紀 (金城学院大学生活環境学部)

私が生理人類士を受験したのは、この資格があらゆる人々に対して、快適な生活環境の提案やアドバイスをを行うことができ、人間生活の質の向上に直接関わる資格であると聞いたからです。この資格は、大学で学んだユニバーサルデザインを通じ、社会に役立つ仕事をしたいと考えていた私にとって大変魅力的でした。

最初は知らない用語ばかりで大変でしたが、勉強していくうちに、この生理人類士の目指していることの面白さに気づきました。今まで何気なく

暮らしてきた生活環境の中にも、色や光、温度などについて様々な工夫が溢れているのです。そして、それは人々の生活を豊かにしていくために、無くてはならないものである事を知った時、もっと深く勉強をしたいと感じるようになりました。

これからも、この資格を取得するために学んだことを活かし、私の身近な小さなことから始めて、人々の暮らしを益々豊かにしていくことができたらと考えています。

### 【生理人類士の声・2級】

#### アメニティ・デザインをめざして

三宅 学 (武蔵野大学通信教育部)

大学に編入学した後、この資格の存在を知り、アメニティという言葉と「…生活環境についてアドバイスを行う専門家」として認定する資格という説明に興味を持ち、アメニティスペシャリストを受験して合格することができました。生理人類士は最初に抱いたイメージと違い、人体や神経系、感覚および免疫などヒトのからだにかかわるものと、温熱、音、衣食住および都市の環境に関するものがあり、人間の環境への適応能を考えてアメニティをデザインするための人材であることが、学習を通して理解することができました。合格したことだけに満足せず、日々の生活においてもどんなデザインが可能かを考えながら、的確なアドバイスできる人材になれるよう頑張りたいと思います。

#### 生理人類学の知識を自分のものに

恵良有香 (武蔵野大学人間関係学部)

私が生理人類士2級の資格を知ったのは、入学当初に橋本先生のお話を聞いて生理人類学という分野に興味をもったことがきっかけでした。生理人類学の講義では、ヒトやそれをとりまく環境について学ぶことができ、とても身近な内容で興味深いものだったので、更に理解を深めようと生理人類士の試験を受験することにしました。試験の勉強をする際に大学で行なわれる試験対策講座に参加することや自分でテキストを使って勉強す

ることにより、生理人類学に対しての知識をより自分のものにすることができたように思います。

### 資格を得て思うこと

久野萌子（実践女子大学生生活科学部）

本年度の前期に「生理人類学」を受講し、私は目覚めました。これまで受講してきた衣環境や住環境などの分野にも繋がっていること、また老若男女すべての人類に関わっていることを知ったからです。そこで、生理人類学の知識を更に深めたいと思い、生理人類士2級資格を受験することにしました。

「特訓」と称される勉強会では、先ずこの学問の歴史や資格の意義について説明がありました。そして例題を解く内に、人類の進化、環境への適応能力、発育、加齢といった人類そのものについて学び、さらに快適に暮らすための人類をとりまく多くの事象の重要性、あるいは研究の手法について学ぶことができました。

試験にトライしたことで、私は改めて身の回りの環境について目を向けるようになりました。今後、学んだ知識や得た資格を、日常の暮らしや卒業研究に活かしたいと思っています。

### 生理人類学（アメニティ）試験に合格して

原 綾香（福岡女学院大学人間関係学部）

私は大学に入る迄、「生理人類士（アメニティスペシャリスト）」という資格について全く知りませんでした。この資格を知るきっかけとなったのが、大学で開講されている生理人類学の講義です。ここでは、生活環境が人類にどのような影響をもたらすのか、人類の歴史からどのように環境に適合してきたのかを学びました。私は大学で心理学を専攻しており、環境と人とのつながりという面で、生理人類学と心理学は共通していると感じ、興味が沸いたため、今回、この資格を受けました。

勉強を進めていく中で、人類の身体構造や感覚、神経の役割を深く学び、私たちが過ごしている日常生活においても、身体は常に変化・適合し続けていることを知り、生理人類学という分野がすご

く身近なものだと感じました。この分野は今後も日々、成長・変化し続けていくものです。私たちの身の回りを快適にしていくためにも、より深い知識を身につけ、心身ともに豊かにしていきたいと思っています。

### 私が学んだもの

嘉部優奈（長野県短期大学生生活科学科）

私は、生理人類士（アメニティスペシャリスト）という言葉が長野県短期大学に来て初めて知りました。所属する生活科学科生活環境専攻の講義への理解を、少しでも深められればと思い、受験することにしました。

テキストは一見すると教授の論文がずらりと並んでいるようであり、最初は抵抗がありましたが、いざ勉強を始めてみると、授業で習った環境生理学、人間工学などの内容と、大好きな生物に関する記述がたくさんあり、楽しみながら勉強することができました。また、2年生になってから履修する内容も多分に含まれており、試験のための勉強時間はとても有意義なものになりました。

私はこれから本格的な就職活動を始めます。今の段階では建築関係に進めたらと思っています。建築の専門的な内容は学べなくとも、人間の快適な環境について学ぶことができたと思うので、これからの就職活動やその先の人生に、今回知り得た知識を活かせればと考えています。

### 試験勉強で学んだこと

岡田早紀（島根県立大学短期大学部総合文化学科）

卒業を前に、学生のうちに資格を増やそうと、ゼミのみんなで生理人類士の資格取得に挑戦しました。『アメニティ』や『生理人類学』は馴染みのない言葉で、テキストを開いた第一印象は用語やグラフが難しそうと不安になりましたが、先生が試験対策の講義を開いてくださり、学校で学んできたものを総合したものが生理人類学なのだと知りました。一見、関係のないように思える授業でも、快適で健康な暮らしとは何か考えるという共通の学問だったのだと気づき、試験勉強では授業

で学んだことを思い出しながら、さらに理解を深めることができました。

身体の仕組みや、生活環境が身体に与える影響を知ることは、自分の身体のことを考えることでもあり、身近に感じました。少しの工夫や意識で暮らしを良くすることができる、快適で健康な暮らしづくりに活かしていきたいと思います。

### 【2011年度各資格取得者氏名】

< 1 級 > 山田瑞生

< 準 1 級 > 安高佳依 福田留美子

立身芙希子 仲光梨衣 田平恵利子

大澤舞 猪子麻紀 野田莉可 (以上 8 名)

< 2 級 > 三宅学 富士岡幸 伊藤京子

松井由美 高野春男 山田千砂 瀧澤友美

有泉佳苗 木島志保 井戸沼友里 眞崎史子

横山孝子 今野リエ 城所理恵 渡邊典子

木下直美 堀切眞弓 長北真枝 石原功騎

近藤貴恵 湯田あさ美 再起和美 岩下和生

高橋咲千子 永井理紗 中島くるみ 恵良有香

筑井里美 白根美咲 山本藍 西塚仁美

斉藤真衣 鈴木恵美子 林美早紀 長尾茉里奈

井上郁美 大久保かさね 尾久文恵 久野萌子

関とも実 西脇麻莉 辻本博子 藤井麻子

村田知奈美 横山桃子 山室美樹 島田香織

築地真理子 大城菜乃 大木淳子 原綾華

篠原菜七実 宇治野美由季 田中美里 畠山千絵

松本真実 中村葵 甲斐田莉芳 光安唯香

石田佳子 井上侑 佐藤美夏 池田有加

堀田美幸 竹内さや香 竹村瑞希 大坪彩乃

福山由香 柴田華奈子 中村咲瑛 富永綾

伊藤千尋 犬飼あゆみ 新美香 平野文香

村西香織 上村真里奈 加藤志織 酒井絵莉菜

中井沙織 畠山祐紀子 松岡優季 安井千尋

太谷夏希 大野柚香 沖田栞奈 荻野瑛乃

嘉部優奈 土屋あき帆 中村有希 宮阪奈津岐

宮原愛 黒坂麻裕 小山香織 近藤彩

齋藤梓 高橋可奈 荒井秀一 和田芝央

安部比斗美 榎本加奈子 岡田早紀 西川陽子

(以上 103 名)

### 【2011年度表彰者氏名】

< 準 1 級 > 安高佳依 (武蔵野大学)、大澤 舞 (福岡女学院大学)、猪子麻紀 (金城学院大学)

< 2 級 > 三宅 学・恵良有香 (武蔵野大学)、住吉茉里亜 (実践女子大学)、原 綾香 (福岡女学院大学)、村西香織 (金城学院大学)、齋藤 梓・高橋可奈 (長野県短期大学)、西川陽子 (島根県立大学短期大学部)

### 【2012年度生理人類士認定試験】

1) 受験申込み期間

・ 9 月 20 日 (木) ~ 10 月 10 日 (水)

2) 試験日

・ 準 1 級および 2 級 : 12 月 1 日 (土)

・ 1 級 : 12 月 2 日 (日)

3) 受験料

1 級は 1 万 2 千円、準 1 級および 2 級は指定校に所属する者 9 千円、指定校に所属しない者 1 万 1 千円。

4) テキスト『生理人類学入門』

これは生理人類学の基礎を学ぶための参考書です。準 1 級および 2 級受験用の予想問題集を兼ねており、受験者には 1 冊が配布されます (定価 3 千円。代金は受験料に含まれます)。

### 【2 級受験に伴う特典】

指定校に所属する 2 級資格受験者は、日本生理人類学会の学生会員になることができます (入会金 1000 円を納める必要があります)。これにより、学会が主催する年次大会等の行事に学生会員料金で参加することができ、また各種情報の配信を受けることもできます。詳細は下記の学会ホームページを御覧ください。

< 問合せ先 >

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-4-19

(株)国際文献印刷社内

日本生理人類学会資格事務局

電話 03-5389-6218 FAX 03-3368-2822

E メール jspa-post@bunken.co.jp

学会ホームページ <http://www.jspa.net/>